

2005年 1月 新春懇話会

平成17年1月14日(金) 18時~20時 荳手第2ビル5F 2-1

開始直前は、30数名と例年になく少ない人数で会は始まった。しかし、7:30 までには、人は増え、最終的には47名と本年も盛況な懇話会であった。今井氏の司会で口火が切られた。

まずは、佐藤機械部会長から開催の挨拶。「本年は、アインシュタインが3大論文を発表してから100年の区切りのよい年である。話題となっている青色ダイオードの中村



氏の件は、技術者の重要性を再認識させてくれている。機械部会でも技術者地位向上に向け、いっそうの努力をしてゆきたい。」

続いて、安藤理事から、「昨年、技術士活動のビジョンを作った。今年は、ビジョンを実現するべくアクションプランを作ってゆきたい。会員の支援を仰ぎたい。」とのスピーチと共に乾杯の音頭があり、懇話会が始まった。

あちらこちらで談笑の花が咲くなか、スピーチのトップバッター、木村氏は、中小企業支援業務、JICA 関連業務など氏の昨年度の技術士活動を紹介する。続いた河島氏は、BGM にのせた祝い笛「越殿楽」で新春を彩った。しばらく、スピーチが続いたあとは、昨年に続き、湯浅氏が、絵画の作品を紹介する。昨年は油絵であったが、今年は、裸婦のクロッキーが中心。「弁天小僧菊之介」であるがごとく、歌舞伎調で挨拶されたのは竹村氏。多彩な芸のあとは、また、「地震の観測装置の普及」、「機械エンジニアは日本を支えている」など、さまざまなスピーチがあった。和やかな雰囲気での歓談、そしてスピーチと会は進行していった。今年も、畠山常務理事以下、事務局スタッフの参加をいただいた。特に、女性スタッフの参加があり、例年以上に懇談が盛り上がったのは特筆すべきことだろう。

畠山常務理事からは、江ノ島の美しい景色の紹介、技術士会の発展を願うスピーチをいただいた。

とどまる所を知らぬように談笑が弾んでいる中、予定の終了時刻が迫ってきた。特別講演会などの連絡の後、新春を祝う河上氏の締め、関矢副部会長の謝辞と続いて、余韻尽きぬまゝに会は終了した。

The new year party was held on 14th Jan.,(Fri) with 47 attendants. The party was opened with the speech of the Division Head, Mr. Satoh. The members celebrated the new year with the toast proposed by Mr.Andoh. He insisted to make efforts to estsbilish the action-plan to realize Vision 21 within this year. The guests, Mr. Hatakeyama (Managing Director) and staffs of head office, were welcomed. After some more speeches, the hobbies of the members were introduced. The music “Iwai-Uta” was played by Japanese traditional flute and croquis were shown on the screen. Further more speeches were followed by introduction of some other hobbies. The party was finished at 8:00PM with good conversations.

(宇津山 俊二 記)